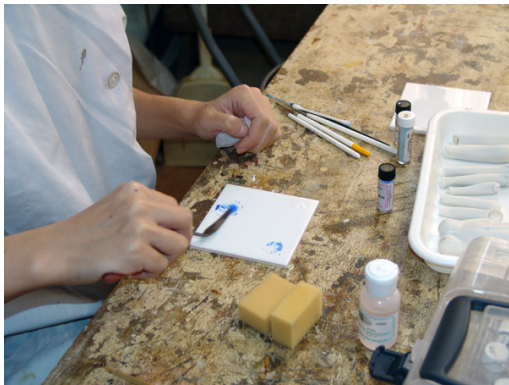


絵付け作業



上絵の具(チャイナペイント)をメディウムで適度な硬さに溶き、肌の色味をつけます。

滑らかに展ばすため、あらかじめ下地にメディウムを刷いておいても良いでしょう。

スポンジやブラシを 사용합니다。



塗り終わったらキャディ(カンタル線)などに立てて焼成します。立てられないパーツは棚板に直接置いても大丈夫です。その場合はアルミナ粉をきれいに取り除いておきます。

焼成温度は上絵の具の種類(メーカー)によって異なりますが、大体750~850℃で焼くものが多いようです。

今回使用した絵具は若干低めの710℃(コーン#018)で焼付けます。



地の色味が決まったら徐々にディテールを加えていきます。

小型のキルンがあると日に数回焼成ができます。

絵付焼成は何度でもできるので、焼き上がりを見ながら少しずつ進めると失敗もないでしょう。

今回は少ないパーツで3回、多いパーツで5~6回程度焼成をしました。



絵付け作業